



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

ECCELL 社会人プログラム 変革期の乳幼児教育・ 保育を考える

平成29年度 前学期

〔開講科目〕

科目コード：未定

ECCELL 子ども学ゼミⅢ（集中講義）1単位

日時：4/8(土), 6/3(土), 7/1(土), 8/5(土)

いずれも 13:20-16:30

担当：浜口順子、宮里暁美、松島のり子、内海緒香、
安治陽子(お茶の水女子大学)

科目コード：未定

ECCELL 乳幼児教育論Ⅲ（集中講義）1単位

日時：6/24(土) 9:00-16:30, 6/25(日) 9:00-15:45

担当：安治陽子(お茶の水女子大学)

科目コード：未定

ECCELL 子ども学研究法Ⅰ（集中講義）1単位

日時：8/19(土) 9:30-17:00, 8/26(土) 9:30-16:15

担当：内海緒香(お茶の水女子大学)

■ 受講生は「お茶の水女子大学 科目等履修生」として登録され、授業回数の3分の2以上出席する他、一定の条件を満たした場合には、単位が認定されます。

■ **男性も受講可能**です。

■ 授業内容：シラバス（別紙）をご確認ください。

■ 納付金：

検定料 9,800 円

入学料 28,200 円（継続の場合、3年間有効）

授業料 14,400 円（1単位につき）

※本学卒業生・修了生は、入学料が無料となります。

**詳しくは、お茶の水女子大学 ECCELL ホームページ
をご覧ください。**

⇒ <http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji>

応募期間

平成29年2月17日（金）～ 2月23日（木）（※消印有効）

応募方法

出願要項・入学願書をお茶の水女子大学ホームページからダウンロードしてください（大学学務課窓口にも直接請求することもできます）。

出願に必要な書類を整えた後、下記〔願書送付先〕までご郵送ください。

⇒ **お茶の水女子大学ホームページ**：<http://www.ocha.ac.jp/>

〔願書送付先〕

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 学務課（電話：03-5978-2722）

〔問い合わせ先〕

お茶の水女子大学 ECCELL 社会人プログラム（特別設置科目）担当

電話：03-5978-5949 E-mail：nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

平成 29 年度 前学期 開講科目

■ECCELL 子ども学ゼミⅢ (科目コード 未定) 1単位 集中講義

日時：4月8日(土)、6月3日(土)、7月1日(土)、8月5日(土)

いずれも 13:20-16:30

担当：浜口順子、宮里暁美、松島のり子、内海緒香、安治陽子（お茶の水女子大学）

子どもの育ち・環境や乳幼児保育・教育等に関して、各自の問題意識や探究テーマを持ち寄り共有しながら、多様な参加者（受講者）が協働して学びの「場づくり」をすることを目指します。サイコドラマやラーニングカフェ方式などを活用し、相互に個々の考えを尊重し共有しながらアンラーン（学びほぐし）する場を形成するというものです。個々の研究したい主題を焦点化し、各自がもっともフィットする様式での研究発表・交流を行うことを一つの目標とします。

■ECCELL 乳幼児教育論Ⅲ (科目コード 未定) 1単位 集中講義

日時：6月24日(土) 9:00-16:30、6月25日(日) 9:00-15:45

担当：安治陽子（お茶の水女子大学）

子どもの発達は、胎児期から時間的に連続するプロセスの中にあり、子ども自身の「育つ力」と環境との相互作用を通して、その子らしく展開していくものです。乳幼児期の保育には、一人ひとりの子どもが自身の力を発揮しながら発達していくプロセスを見守ること、支えていくことが求められます。本授業では、近年特に都市部で量的拡大が進んでいる0,1,2歳児の保育のあり方を考えることを通して、子どもの発達をふまえた保育の質向上、0～6歳までの発達を見通した保育カリキュラムおよびカリキュラムマネジメントの重要性について考えます。

子どもの年齢や施設類型にかかわらず、それぞれの子どもの胎児期からの育ちとつながるところに、保育・教育実践が成立していることを意識化し、子どもが遊び、学び、生活して育っていく乳幼児教育・保育の場をより豊かに構築していくことを目標とします。

■ECCELL 子ども学研究法Ⅰ (科目コード 未定) 1単位 集中講義

日時：8月19日(土) 9:30-17:00、8月26日(土) 9:30-16:15

担当：内海緒香（お茶の水女子大学）

テレビや新聞では、商品やタレントの人気に関するアンケート調査、経済動向、世論調査などに関するグラフや表を目にすることが多いと思います。統計学は集められたデータの解釈の基礎となっており、現代市民の必須の学問、ツールといっても過言ではありません。統計は、心理学・社会学・マーケティング・気象学・物理学などあらゆる分野で使用されています。保育に関する調査研究においても、多くの人から集めたデータをまとめ分析するという作業が必要になります。本講義では、データをどのように扱ったら良いかお悩みの方を対象に、①研究法の種類、②統計の基本的な考え方、③質問紙法を用いた簡単な調査と分析について実習を通して学びます。